

▶ショッピングセンター前で
キャンペーンの様子



犯罪のない未来へ
社会を明るくする運動
紡ぐ思い

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする「社会を明るくする運動」。昭和26年に始まったこの運動が今年も7月に、全国で展開されました。

本町では7月10日、保護司会・更生保護女性会・防犯組合等の方々が、増穂北小学校を訪問。石井副町長は、「人を思いやる優しい心でいることを約束してください」と児童に呼び掛けました。

また、更生保護女性会からは、「たくましく成長してほしい」との願いを込めた手作りのしおりを全校児童にプレゼント。児童を代表して吉田優海さんは、「身近ないじめについて、改めて考えることができました。もし間違っていじめが起きてもみんなでなくし、仲良く明るい学校にしていきたい」とお礼とともに決意を述べました。

学校を後にした保護司会と更生保護女性会は、ショッピングセンターやスーパーマーケット前でキャンペーンを展開。買い物客に明るい社会づくりを呼び掛けました。

メロンの 甘い掛け橋

小学校の給食に山武農業高等学校の
マスクメロンが並ぶ



▲マスクメロンを味わって食べる子どもたち

地産地消の推進と学校間の交流を目的として、山武農業高等学校の中正農場で生産されたマスクメロンが各小学校の給食の1品として登場しました。児童たちは大きなマスクメロンに大喜び。夢中でほおばりました。

マスクメロンの収穫

山武農業高等学校生物工学科植物工場で学ぶ2年生7人と3年生10人の生徒により丹精込めて育てられ、大きく実ったマスクメロンが6月29日、一つ一つ丁寧に収穫されました。

このマスクメロンはとてもデリケートな植物で、1本に1つしか実を成らさないといった配慮などが施されていることから、通常直売のみでしか出回ることのない希少なものです。収穫に携わった3年生

▶丁寧にこみを拾う園児と保護者



地域に目を向けて 増穂幼稚園でクリーン大作戦

増穂幼稚園に子どもを通わせている保護者からの提案で7月10日、園児とその保護者

約200人による清掃活動「クリーン大作戦」が町運動広場で行われました。

緑の自然に触れながらこみを拾い、両手に持ったごみ袋をいっぱいにしました。クリーン大作戦を終え、加藤園長は「保護者の輪だけでなく、地域の輪づくりに目を向け、地域の方々の力をお借りしながら仲良く、楽しく子育てができれば嬉しい」と語っていました。

今までにない大ぶりの マスクメロンが学 校給食に登場

大網東小学校では7月6日、325食分の給食の1品として登場しました。

4年生の教室ではカットされた大ぶりのマスクメロンを前に、猪野栄養教諭が山武農業高等学校での収穫の状況を紹介。その後、マスクメロンを口にした児童からは「おいしい」と思わず声が漏れ、また中には「お兄ちゃん甘くておいしいよ」と山武農業高等学校のある方向に叫ぶ姿も見られました。



料理

旬の野菜を使って

今が旬のなすと、とろりとしたチーズ、ココのあるしょうゆ味で食欲をそそります。



なすのチーズ丼

材料4人分

- 米……………2カップ
- 水……………360cc
- なす……………4本
- サラダ油……………大さじ2
- とろけるチーズ……………4枚
- 大葉……………10枚
- かつおぶし……………1袋(5g)
- 白いりごま……………大さじ1
- A だし汁・しょうゆ・酒・みりん……………各大さじ2
- 砂糖……………大さじ1

1人分 491kcal

作り方

- ①なすはへたを落として縦半分にする。さらに1本切込みを入れる。皮の表面に味が染み込むように隠し包丁を入れる。
- ②フライパンにサラダ油を入れて、なすをきつね色になるまで焼く。Aを混ぜて入れ、なすにからめる。
- ③火を止め、半分に切ったチーズをなすの間にはさむ。
- ④器にご飯を盛り、大葉を1枚ずつ敷き、なすをのせてたれをかける。
- ⑤かつおぶしと白いりごま、残りの大葉を千切りにして飾る。

食生活改善協議会大網支部

地元の海で伸び伸び遊ぶ 白里幼稚園「親子浜遊び」



▲スイカ割りを楽しむ親子

「海という自然を今後も大切にしていきたい。また海で親子のふれあいや思い出を作してほしい」

そんな思いから7月3日、親子浜遊びが白里中央海岸で行われ、白里幼稚園児66人とその保護者が参加しました。

まずは「いつもきれいな海であってほしい」とみんなが砂浜を清掃。小雨が降る中、たくさんの方々が流木や竹、空き缶などが集められました。その後、きれいになった砂浜で、準備体操や親子遊戯で体をほぐし、クラス対抗の砂山づくりに挑戦。夢中になって親子で積んだ砂山の高さは、甲乙付け難いほどの接戦となりました。また、全力で引いた保護者の綱引きや競技後のスイカ割りには真剣そのもの。辺りに大きな歓声がこだましました。約2時間半、笑い声や元気に応援する声が絶えることがなかったこの親子浜遊びも閉幕。そしてすべての参加者がいなくなった砂浜には、みんなで作った大きな砂山が3つ残っていました。